

国語 第4学年 役わりをいしきしながら話し合おう 検討会の想定問答

指摘 1: ねらいが曖昧ではないか。この単元で何を身に付けさせたいのか。

返し: 中心はA(1)オ。目的や進め方を確かめ、役割を受け持って話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめること。第3学年の班の話し合いから、本単元では学級全体に広がるので、記録と役割の働きがはっきり見える。合わせて(2)イ「比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方」を、記録と話し合いメモで指導する。

指摘 2: 評価規準は何か。どこで見るのか。

返し: 3観点で書いた。文末は国立教育政策研究所の参考資料に合わせ、知識・技能と思考・判断・表現は「～している」、態度は「～しようとしている」。知識・技能①は第4時の記録と第8時の振り返り、思考・判断・表現①は第5～6時の観察と記録、②は本時の観察と話し合いメモ、態度①は第1時の観察と第8時の振り返りで見る。

指摘 3: 言語活動は何か。

返し: A(2)ウ「互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動」。第5時はグループ、第6～7時は学級全体で話し合う。

指摘 4: 学級全体だと発言しない子が多い。全員を評価できるのか。

返し: 発言だけで見ない。話し合いメモの「同じところ」「ちがうところ」の欄と、第5時のグループ練習の観察を合わせて見る。本時も、隣の子と話してから全体で話す時間を取るので、全体で発言しなかった子の考えもメモに残る。

指摘 5: 学級会と何が違うのか。

返し: 国語科で評価するのは、A(1)オの話し合い方と、(2)イの書き留め方・分類の仕方、決めた内容のよしあしは評価しない。議題は学級で実際に決めたい物にするので、本単元で身に付けた進め方を、そのまま学級会で使える。

指摘 6: 多数決で決めてはいけないのか。

返し: 禁じてはいない。ただ、A(1)オは「互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること」を求めているので、比べる前に多数決にすると、この指導事項を学ぶ場面がなくなる。共通点と相違点を確認しても決まらない時の方法として残している。

指摘 7: 個に応じた指導はどうするのか。

返し: 発言が苦手な子には、話し合いメモに書いてから話させ、隣の子と話す時間を取る。記録が苦手な子には、似た意見を線で囲む方を受け持たせる。早く考えがまとまる子には、違う意見のよい所を合わせた案を考えさせる。第3の1(9)の「困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫」に当たる。

指摘 8: ICTは使わないのか。

返し: 二つの使い方を考えている。記録を共有の画面に書いて、全員が手元の端末で見られるようにすること、第6時の話し合いを録画して、第8時の振り返りで見返すこと。第3の2(2)の「コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会」に当たる。端末が無ければ、黒板の記録と写真で同じことができる。

指摘 9: 教科書の話し合いの例どおりでいいのか。

返し: 教科書の例は、役割ごとの言葉を見付ける材料として使う。議題は学級で実際に決めたい物にするので、例をそのまま演じさせることはしない。教材は第3の3(1)の「言語活動が十分行われるよう教材を選定する」に沿う。

指摘 10: 8時間も取れない。時間が足りない。

返し: 8時間は光村図書出版の年間指導計画例の配当に合わせた。削るなら、第4時の記録の練習を第5時のグループ練習の中で行い、第6時と第7時の話し合いを一時間にする。学習指導要領は第3の1(4)で、第3学年及び第4学年の話すこと・聞くことに年間30単位時間程度を配当するとしているので、年間の中で時数を確かめて決める。

指摘 11：板書はどう使うのか。

返し：中央の広い所は記録係が使い、似た意見を線で囲んで見出しを付ける。左端の進め方には磁石を置き、今どこを話しているかを示す。A(1)オの「共通点や相違点に着目して」と(2)イの「比較や分類の仕方」を、黒板の上で目に見える形にしたもの。

指摘 12：学習指導要領のどこに書いてあるのか。

返し：第2〔第3学年及び第4学年〕2内容の〔知識及び技能〕(2)イ、〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)オと(2)ウ、関連してA(1)エ、学年の目標(2)(3)。原文は授業の設計図の「学習指導要領のどこに書いてあるか」の欄に載せた。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

